

感染症が疑われる患者に対する熱源精査 Computed Tomography の有用性についての検討
～単施設、過去起点コホート研究～

1. 研究の対象

2014年1月1日から2016年8月31日の間に、防衛医科大学校病院に入院し感染症の精査のためにCT撮影を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

感染症では、感染源を早期に発見し迅速な治療をするが非常に重要です。CTはそのためには非常に有用な検査とされていますが、造影剤の曝露、放射線への曝露などを受けることによるデメリットもあります。したがって、適切なCT検査をすることは医師にとって大きな課題となっています。

しかし、感染症に対するCT検査の有用性については個別の感染症に対しては検証されたものはあるものの、感染症診療全体としては、検証されていません。

そこで、我々はCTを適切に撮影するためには、少なくともCT検査で所見が見つかるための検査前確率を高めることが重要であることに着目し、どのような要素が検査前確率を上げるのかについて検証しました。

研究期間：学校長承認後から令和4年9月30日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

下記の情報をすべて匿名化して使用します。

・患者情報

年齢、性別、体重、手術日、術式、CRP、白血球数、Cre、腎不全の有無、担当診療科、呼吸数、Glasgow Coma Scale score、収縮期血圧、qSOFA score、qSOFA判定

・担当医師情報

CT撮影前に感染症が推定できているか、検査前推定診断名、最終臨床診断名など

・撮影情報

造影の有無、CT撮影日、手術からCTまでの日数、撮像範囲

・読影医師情報

読影医師名、読影医の読影所見・判断

4. 外部への試料・情報の提供

慶応義塾大学附属病院 放射線科 曾我茂義

横須賀病院 放射線科 村上和香奈

自衛隊中央病院 救急科 東山大士

の先生方が共同研究者として参加しており、患者さんの情報は匿名化された上で提供されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

資料 4

資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

・照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

防衛医科大学校 放射線科

研究責任者 医師 濱邊布美子

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話 04-2995-1211（代表）